

ニツ山古墳2号墳(太田市)

前方がニツ山古墳2号墳/前方後円墳/左奥が後円部、右手前が前方部/北西側から見たところ



説明板が立っている



二段築成で周囲に堀跡が認められると云う/6世紀後半から7世紀初めの築造

群馬県指定史跡

ふたつやまこふんにごうふん
ニツ山古墳二号墳

指定年月日 昭和五十九年七月三日
所在地 太田市新田天良町一六七―一七二乙

ニツ山古墳二号墳は、北西に隣接する一号墳と共に、この付近の代表的な古墳である。

墳丘は、主軸を東西にとる二段築造の前方後円墳であり、周囲に堀跡が認められる。

墳丘規模は、全長四十五メートルで、後円部の幅三十二メートル、高さ六メートル、前方部の幅二十二メートル、高さ三メートル、堀幅は十メートルと推定されている。

墳丘は川原石の葺石で被われ、円筒埴輪、人物埴輪が確認されている。

主体部は、自然石乱石積みの横穴式石室で後円部南側に開口している。現状で奥行七メートル、羨道幅一メートル、玄室幅二・八メートル、高さ一・九五メートルである。

築造年代は、六世紀後半から七世紀初めと考えられている。

一号墳と共に、終末期の前方後円墳であり、南方の寺井廃寺、新田郡衙との関係を考える上で貴重な古墳である。



左 一号墳 右 二号墳

平成二十七年三月二十五日

太田市教育委員会

下がニツ山古墳2号墳



ニツ山古墳一号墳（上）・二号墳（下）

前方部墳頂から西方向を見たところ



こんな塩梅



振り返って後円部方向(東方向)を見たところ



くびれ部と後円部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



ここが後円部



後円部墳頂



その先(東方向)を見たところ



振り返って前方部方向(西方向)を見たところ



くびれ部と前方部を見たところ



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



これは南西側から後円部を見たところ/自然石乱石積みの横穴式石室が後円部南側に開口しているらしいが確認できなかった



そこで左手を見たところ



同じく右手を見たところ



東側から後円部を見たところ



右手で後円部から前方部方向を見たところ



これは西側から前方部を見たところ



そこで左手を見たところ/前方にニツ山古墳1号墳が見える



右手で前方部から後円部方向を見たところ



左手で前方部から後円部方向を見たところ



北西側から全景を見たところ



参考ホームページ

http://sgkohun.world.coocan.jp/archive/index.php/nitta_hutatu2/

<https://mukidouan.exblog.jp/4106261/>

<http://hazukimap.sakura.ne.jp/guide/10g/10205oota/10205S009.htm>

<https://ameblo.jp/fookky/entry-12338324497.html>

